

新春の恒例行事

関伝古式日本刀鍛錬打ち初め式と 刀剣研磨外装技術仕事始め式

- と き 毎年1月2日 午前10時から
- ところ 関鍛冶伝承館(関市南春日町)
- 主 催 関伝日本刀鍛錬技術保存会

新年1月2日、一年の無事、盛業を祈り烏帽子や白装束に身を包んだ刀匠が、鍛錬の奉納を行います。

この古式日本刀鍛錬打ち初め式は、昭和52年から刀剣関係者により行われています。

以前は、各刀匠鍛錬場において実施していましたが、現在は、関伝日本刀鍛錬技術保存会の刀匠が一堂に会して行っています。

刀匠ゆかりの春日神社でお祓いを受けた刀匠らが、鍛錬場で火入れ式を行ない、鍛錬を公開します。

また、関鍛冶伝承館内にある技能公開場では、技能師らが1年の盛業と無事を願い神事を行います。

なお、今回の日本刀鍛錬公開は、昨年
に引き続き、一般入場者の人数を60名に
制限して開催いたします。



【日程】

- 9:30 修祓の儀(春日神社拝殿)
- 10:00 研磨外装仕事始め式(関鍛冶伝承館技能公開場)
- 10:10 火入れ式・鍛錬一般公開(関鍛冶伝承館鍛錬場)
- 11:00 終了

※お願い※

- 鍛錬の公開は、折り返しの工程を2回行いますが、1回目を報道機関の撮影用とします。
- 座席の都合上、事前に人数を確認するため、取材にお越しいただける場合は、12月23日(金)までに事務局へご連絡願います。

<照会先>

関伝日本刀鍛錬技術保存会 事務局(関市協働推進部 文化課内 TEL0575-24-6455) 担当: 荘加
会場: 関鍛冶伝承館 (TEL0575-23-3825)